

★★ 従来の、帯電防止剤の常識を変える、

発生予防可能で、世界で初めての性能を持つ ★★

「アンチスタH」、 「エレナック」の原理説明

当製品群は、従来の界面活性剤の応用が主流製品であるものに対して、

その溶剤系や構成成分の違いと共に、対照的な水系であり、特徴的なポロン化

化合物と共存する高電気伝導物質が、ドナー・アクセプターハイブリッド

となり連動して帯電圧を電流に変換し、空中に放電して無帯電荷するという、

その勝れた連動性が、近場の未塗布部分の帯電圧をも集荷してしまう性能を保

持しています。この性能を「体積伝播性」と言うべき性能であります。

この伝播性の高い性能の原理は、ポロン化合物の半極性状態が周りの静電気を

順次曳きつけることから始まります。

この半極性状態では、電荷の担い手である電導電子（負の電荷）と正孔（正の

電荷）がキャリアとなり、次いで高電気伝導物質のイオン伝導性が作動するこ

とにより、互いに反対方向に移動し、帯電圧が電流となり減衰していくため

無帯電化面を構築するのです。当製品群の水溶液は表面抵抗を半導体域の中間

の、 $10^7 \Omega$ まで到達させますから静電気を全く発生させずに、無帯電化状態と

することが出来る高機能製品であります。

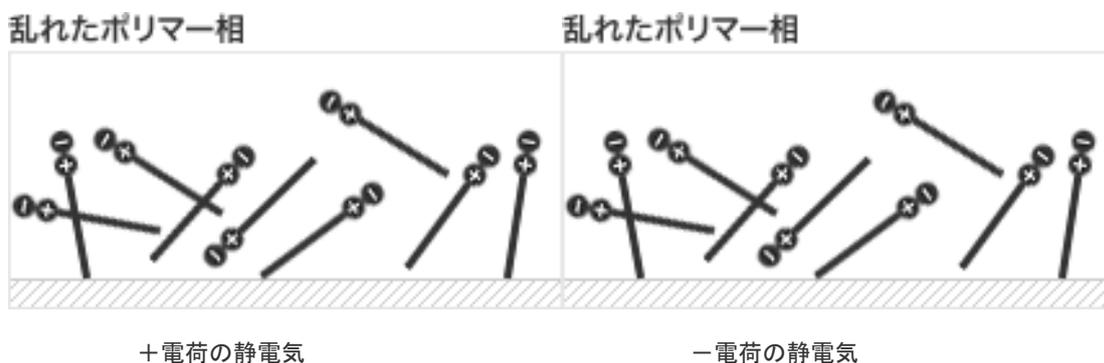


★ ボロン原子の働き——（+イオンと-イオンの解離を促す）

★ 上記の如く、塗布表面には電圧を電流に変えてしまう表面になるために、電荷は順次空中の水分を通して放電されるのです。

### 比較図

## 《従来の界面活性剤系静電気除去剤の 表面劣化イメージ図》



帯電圧を電流に変える、場が劣化して乱れ始めて、静電気電荷が夫々の表面に部分的に残ったままになりなる。

株式会社 ボロン研究所